



公益社団法人
鹿児島県理学療法士協会
ニュース No.103 (142)

2024. 10. 7

- 発行 公益社団法人 鹿児島県理学療法士協会
- 発行人 平名章二
- 編集 原口拓人
- 事務局 〒890-0063 鹿児島市鴨池1丁目48-25
TEL 099 (203) 0860
FAX 099 (203) 0865
- 印刷 中礼印刷

総会員 2,582名 (9/10現在)

URL : <http://infokpta.com/>
e-mail : infokpta@po.minc.ne.jp



金山橋 (始良市)

目次

第42回 協会賞 受賞報告	2	研修会報告 始良地区より	12
第38回 鹿児島県理学療法士学会のお知らせ ..	3	研修会報告 大隅地区より	13
2024年度 写真コンテスト作品募集	4~5	鹿児島訪問リハ研修会のお知らせ	14~15
「健康づくりキャンペーン」活動報告	6	始良地区症例検討会のご案内	16
研修会報告 専門部より	7~9	私と私の職場	17
研修会報告 学術部より	10	私のおすすめ	18
研修会報告 鹿児島地区より	11	事務局だより・編集後記	19

2023年度 協会賞祝賀会、協会賞授賞式について (ご報告)

ザ王病院 弥 栄 博 文

この度、第42回協会賞を受賞いたしました。謹んでご報告いたします。

私は、地域リハビリテーション活動を中心に公益社団法人鹿児島県理学療法士協会の会員として活動してきました。公益社団法人日本理学療法士協会 協会賞は、会員歴30年以上で日本理学療法士協会または都道府県理学療法士会の活動において献身的な活動を続け、功績が顕著で他の模範となる者を日本理学療法士協会会長が表彰するもので、このような名誉ある賞をいただくことができ、感慨無量です。協会は、会員の皆様のご理解とご協力のもとに活動が成り立っています。引き続き、繋がりを強化して、よりよい鹿児島県理学療法士協会を築いていきましょう。最後になりましたが、鹿児島県理学療法士協会の皆様に厚くお礼を申し上げます。

鹿児島大学医学部保健学科 大 渡 昭 彦

2024年6月1日に協会賞祝賀会、翌6月2日に協会賞授与式が東京都で開催され、私も受賞者の一人として参加させていただきました。この賞は会員歴30年以上、かつ55歳以上で県士会の役員を10年以上従事したという要件を満たし、鹿児島県士会長をはじめ士会役員の皆様からのご推薦をいただいた結果、受賞することになりました。近年のコロナ感染の影響で久しぶりの授与式開催ということもあり、協会賞受賞者は60名ほどと多く華やかな雰囲気での祝賀会・授賞式でした。受賞の中にはご家族で参加される方もおり、協会担当者の方々の手厚い対応にも今回の受賞の名誉をひしひしと感ずることができました。私もいつの間にか60歳を過ぎ、どれだけ士会に貢献できたか分かりませんが、ここまで活動を継続できたのは士会員の皆様のご協力あっての賜と感謝の念に堪えません。この場を借りて厚く御礼申し上げます。私はもうしばらく県士会の活動に協力させていただくこととなりますので、今後とも士会員皆様のご理解・ご協力の程、よろしくお願いいたします。



(左側：斉藤会長 右側：弥栄先生)



(左側：斉藤会長 右側：大渡先生)

第38回 鹿児島県理学療法士学会のお知らせ

第38回 鹿児島県理学療法士学会

学 会 長 湯 地 英 充

準備委員長 野 島 丈 史

前回のニュースで開催案内を掲載させていただきました。演題多数登録いただきありがとうございました。現在査読期間中で、準備委員一同開催にむけて鋭意進めております。今回は内容のご案内をさせていただきます。「教育講演」「特別講演」「公開講座」として3人の講師をお招きすることになりました。講師のご紹介を致します！



教育講演

「肉眼解剖・機能解剖からひも解く運動器疾患の評価と治療」

新潟医療福祉大学 教授 江 玉 睦 明 氏

特別講演

「テーマ ～現在検討中～」

日本理学療法士協会 前会長 半 田 一 登 氏



公開講座

「波乱万丈物語～未来へ向けて～」

カウンターテナー歌手 米 良 美 一 氏

普段はなかなか聴けない貴重な講話になること間違いなしです！！

令和7年2月9日はライカ南国ホールで楽しい（fun）学会の雰囲気を感じましょう。

参加受付は12月末開始予定
詳しくは公式ホームページをご参照ください



準備委員長 野 島 丈 史 (鹿児島大学病院)

お問い合わせ先 E-mail : kpta.38thac@gmail.com

写真コンテスト作品募集



鹿児島県理学療法士協会福利厚生部主催の2024年度写真コンテストを開催いたします。会員の皆様から多数のご応募をお待ちしております。

応募期間：令和6年9月1日～令和7年1月31日

応募資格：鹿児島県理学療法士協会会員

賞について：最優秀賞(1点) 優秀賞(2点) 佳作(5点)

※副賞あり

受賞者発表：令和7年2月下旬に直接受賞者に連絡いたします。

また士会HP及びニュースにて発表いたします。

応募方法：鹿児島県理学療法士協会ホームページのお知らせ

2024年度写真コンテスト応募要項をご確認ください。

担当：鹿児島県理学療法士協会 福利厚生部

田上記念病院 リハビリテーション部 川上 剛

TEL：099-282-0051

Email:reha_kawakami@shunpukai.com

2024年度 写真コンテスト応募要項

公益社団法人 鹿児島県理学療法士協会 福利厚生部

1. **応募期間**：令和6年9月1日～令和7年1月31日
2. **応募資格**：鹿児島県理学療法士協会会員
3. **テーマ**：「リハビリと笑顔」をテーマとした作品に、作品名とエピソードを添えてご応募ください。
4. **応募方法**

本応募要項を了承したうえで、カメラ、デジタルカメラ、スマートフォンなどで撮影した静止画像データ（※横向き）を、下記の応募先までお送りください。メールの件名を“写真コンテスト応募”とし、①氏名（フリガナ）、②会員番号（8桁）、③勤務先、④連絡先（電話番号）、⑤メールアドレス、⑥作品名、⑦エピソードを記入し、添付データとして作品をお送りください。1名につき1点応募できます。

(注意点)

- ・撮影は**横向き**でお願いします。
- ・作品の**ファイルサイズ**が大きく送信できない場合は、圧縮してお送りいただくか、大容量送信サービスをご利用ください。

応募先：reha_kawakami@shunpukai.com

※応募して1週間経過しても返信がない場合はお手数ではございますが、お問い合わせ先の電話番号までご連絡ください。

5. 賞について

本会にて審査を行います。

- 最優秀賞（1点） 副賞あり
- 優秀賞（2点） 副賞あり
- 佳作（5点） 副賞あり

6. 受賞者発表について

令和7年2月下旬に直接受賞者に連絡いたします。また鹿児島県理学療法士協会ホームページ及びニュースにて発表いたします。

7. 応募条件

- 1) 公序に反するもの、テーマにそぐわないもの、画像の不鮮明なもの等は無効といたします。
- 2) 過去のコンテストなどで入賞あるいは入選したことのない、オリジナル作品に限ります。また、他のコンテストなどに応募し、まだ結果の出していない作品は応募いただけません。
- 3) 応募作品のうち、入賞された作品については、本会が優先的にプリント展示、出版物、宣伝広告、インターネットなどの本会広報媒体に掲載するために使用する権利を保有させていただきます。使用にあたっては撮影者の氏名の表示を行います。なお、使用にあたっては無償とさせていただきます。
- 4) ポスターへの掲載、リーフレットへの掲載、ホームページなどへの活用などで、必要最低限の加工をすることがあります。応募された場合、本項の同意があったものとみなします。
- 5) 第三者の権利（著作権、肖像権など）を侵害する作品は応募できません。本コンテストの応募に関しては、テーマの性格上、被写体に人物写真が多いと思われませんが、当該被写体となられる方には、了解を得た上での応募をお願いします。万一、第三者と紛争が生じた際は、応募者自身の責任と費用負担によって解決していただきます。

8. 応募作品の権利

- 1) 応募作品の著作権は撮影者に帰属します。
- 2) 応募作品を無断で第三者に貸与することはありません。貸与する場合には、撮影者に事前に利用目的、使用条件（有償、無償）を説明した上で、承諾が得られたものについてのみ貸与いたします。

9. その他

- 1) 応募作品は返却いたしません。
- 2) 審査状況や審査結果に関するお問い合わせには応じられません。
- 3) 受賞後に応募に関して違反が判明した場合、賞は取り消しとなり、賞金を返還していただきます。
- 4) 入賞作品の実際の使用にあたってのデータの一部を修正することがあることをご了承願います。

お問い合わせ先：鹿児島県理学療法士協会 福利厚生部

田上記念病院 リハビリテーション部 川上 剛

TEL：099-282-0051

E-mail:reha_kawakami@shunpukai.com

「健康づくりキャンペーン」活動報告

職能局 理事 福 永 裕 樹

職能局 理事 福 田 秀 文

ヘルスケア事業部 部長 小 野 恵

7月17日の理学療法の日に合わせて、2024年7月14日（日）にイオンモール鹿児島で「健康づくりキャンペーン」を実施しました。ヘルスケア事業部として初めての事業であり、公募スタッフ6名、ヘルスケア事業部7名、広報部3名の計16名のスタッフにて、評価と理学療法士の広報活動を行いました。

イベントでは1階、2階、3階に評価ブースを設け、握力測定、バランス測定、立ち座り、歩行能力などの4項目の評価を行いました。また、理学療法士の広報として、うちわや風船の配布、疑問に対する回答、理学療法のパフレット配布などを各ブースで実施しました。この日は3連休の中日であり、他のフロアでも子供向け、成人向け、家族向けなど多くのイベントが開催されていました。私たちのイベントにも多くのお客様が足を止めてくださり、理学療法士の認知度向上や活動を広く知っていただくことができました。参加者は、お子様連れのご家族、中年世代のご夫婦、理学療法士を目指す高校生などであり、色々な声を聞かせていただきました。「私の握力どれくらいかな?」「バランスは難しそう」など評価に興味を持ってくださる方や「理学療法士ってどこにいるの?」や「どんなことをするの?」といった質問もあり、スタッフは分かりやすく説明しながら、時にはパンフレットを使用して、理学療法士をアピールする機会ともなりました。

普段の臨床ではなかなか経験できない活動であり、スタッフ同士のコミュニケーションや繋がりを感じることもできました。また、この活動を通じて、理学療法士同士の顔の見える関係が築かれ、参加者の方々に理学療法士の魅力を伝えることができたのではないかと思います。雨天で湿度の高い状況の中、スタッフは交代で休憩を取りながら、長時間の活動で疲労感もあったかと思いますが、最後まで笑顔で活動することもできました。ご協力いただいた先生方、立ち寄ってくださった先生方、誠にありがとうございました。

今後もヘルスケア事業部では、県民の健康延伸、産業理学療法、ウィメンズヘルスケアなど様々な活動を展開していきたいと考えております。活動への参加、スタッフ公募の際は、お気軽にお申し込みください。お待ちしております。



研修会報告（専門領域 生活環境支援系研修会）

教育局 理事 岩 森 俊
専門領域研修部 部長 戸 田 博 之
部長 中 尾 周 平
部長 西 洋 樹

令和6年度の専門領域生活環境支援系研修会を下記の概要で開催いたしました。

日 時：令和6年7月21日（日）9:00～12:10

場 所：いづろ今村病院

テーマ：理学療法士が知っておきたい基本動作のポイント（動作介助も含めて）

講 師：土 井 敦 先生

今回、「理学療法士が知っておきたい基本動作のポイント」というテーマで動作介助の実技を含めた研修会を開催いたしました。講師の土井先生からは、まず介護現場の現状（介護職の減少による人材不足、老々介護など）についてのお話がありました。そのような中で我々PTの数は増え、また職域も拡大してきているため、PTとしての特性を生かして介護（ケア）の現場でも活躍ができるのではないかと話されていました。講義では、動画を使用しながら「人間らしい姿勢や動きをサポートする」また「介助者の腰痛予防」の観点から動作介助方法について説明があり、実技での指導も丁寧に行っていただきました。参加者は定員20名に対して10名と少なめでしたが、実技を行う時間も十分に取れて、重心移動や自分の体の使い方を確認しながら実技を行うことができ、また、お互い介助する側、される側を体験することでより一層理解を深められました。今回の講義を通して学んだことを普段の臨床の場はもちろん介護の現場（介護職への指導など）でも実践してもらえると幸いです。

研修終了後のアンケートでは、多くの方から「実技を通じて理解を深めることができた」というコメントをいただき、実技研修の利点を感じることができました。今後もより多くの会員の方々と一緒に学ぶ機会を設けていきたいと思っておりますので、会員の皆様引き続きよろしくお願いいたします。



研修会報告（専門領域 神経系研修会）

教育局 理事 岩 森 俊
専門領域研修部 部長 戸 田 博 之
部長 中 尾 周 平
部長 西 洋 樹

令和6年度の専門領域研修部神経系研修会を下記の概要で開催いたしました。

日 時：令和6年8月4日（日）9:00～12:10

場 所：鹿児島医療福祉専門学校

テーマ：認知神経リハビリテーションの基礎と実技

講 師：上 橋 秀 崇 先生

今回、「認知神経リハビリテーションの基礎と実技」というテーマで研修会を開催いたしました。講師の上橋先生から、「認知理論」に基づいた認知神経リハビリテーションについて、講義に加え、治療場面の動画視聴、デモンストレーションを交えて研修を進めていただきました。研修後のアンケートでも、実際の症例への介入動画、それを踏まえての実技指導があり理解しやすかった、というコメントがあり、対面実技研修の良さを感じる研修になったと思います。リハビリテーションには様々な理論が提唱されています。今回の研修を通して学んだ認知神経リハビリテーションを自分自身の一つの引き出しとして、普段の臨床の場で生かしていただければ幸いです。

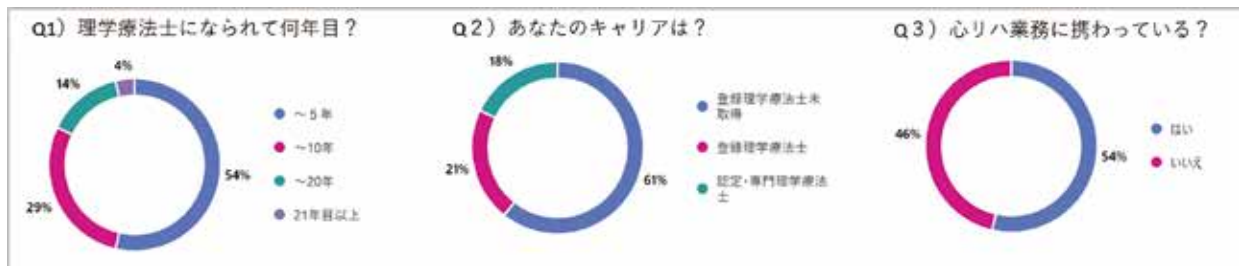
今後もより多くの会員の方々と一緒に学ぶ機会を設けていきたいと思っております。引き続きよろしくお願いいたします。



研修会報告（専門領域 循環器系研修会）

教育局 理事 岩 森 俊
 専門領域研修部 部長 戸 田 博 之
 部長 中 尾 周 平
 部長 西 洋 樹
 循環器系研修会 担当 菅 原 直 美

令和6年9月1日(日)に、『心不全』をテーマとして研修会を開催致しました。参加者は31名で、幅広い経験年数の先生方、また他領域で御活躍されていらっしゃる先生方にも御参加頂き(グラフ1)、運営の立場と致しまして大変嬉しく思っております。



グラフ1

レクチャーを鹿児島市立病院の宮崎 晋宏先生、鹿児島大学病院の中尾 周平先生にして頂き、グループワークを私、天陽会中央病院の菅原が担当致しました。レクチャーでは、心不全の病態生理から実践的な評価やアセスメントまでと、実臨床に活かして頂ける内容でお話して下さいました。グループワークでは、レクチャーでインプットした知識を症例検討によりアウトプットして頂いたのですが、どのグループも活発に取り組んでおられたのが印象的でした(研修会の様子：写真1,2,3)。



写真1



写真2



写真3

また、皆さんに興味をお持ちのテーマを伺ったところ、「心肺運動負荷試験」「データ・心電図の判読」「リスク管理」「アプローチの実際(生活期を含む)」「虚血性心疾患」「動脈瘤」「閉塞性動脈硬化症」などなど、貴重な御意見を沢山頂戴致しました。今後の運営に反映するべく、努力する所存でございます。

最後になりましたが、本年度は第2回研修会に、『代謝系』をテーマに掲げ、計画を進めております。内部障害の患者さんを目前にして、日頃不安や疑問を抱えていらっしゃる先生方、是非是非御参加下さい！ その悩み、1つ消すことが出来るかもですよ！ 運営部一同、心よりお待ちしております。

研修会報告（学術部より）

学術研修部担当理事 白尾麻美
部長 福森愛美

○ 鹿児島県理学療法士協会 令和6年度 第2回 学術研修部研修会

タイトル：内部障害の理学療法

講師：大重匡先生（鹿児島大学医学部保健学科）
坂元将也先生（谷山生協クリニック）
宇都良大先生（きくち内科クリニック）

会場：鹿児島大学医学部保健学科共通教育棟インテリジェント講義室

日時：2024年7月21日（日） 9：30～16：30

現地参加者：21名

令和6年度第2回学術研修部研修会を上記の通り開催いたしました。いずれも多くの年代の先生方にご参加いただきました。第2回研修会では、内部障害の理学療法というテーマで3名の先生方にご講義いただきました。

循環器疾患・呼吸器疾患・糖尿病に関するそれぞれの専門的な対応や、検査結果の解釈の仕方、明日より応用できる内容など幅広い知識を得られる会となりました。運動器や脳血管など他分野でも理学療法介入する方が内部障害を合併されていることも多いと思います。多角的な視点を身につけることが効果的なアプローチには重要と感じました。

今年度の学術部研修会は残り3回の予定となっております。学術部研修会は現地開催およびオンデマンド配信での開催を予定しています。オンデマンド配信は事情により配信できない場合がありますので、ご了承ください。

また、お申込み、受付にはJPTAアプリが必要ですので、事前にご確認をお願いいたします。



研修会報告（鹿児島地区より）

鹿児島地区担当理事 東 幸 太
 鹿児島地区担当理事 岩 森 俊
 鹿児島地区長 久 米 康 隆

○ 第1回鹿児島地区研修会報告

第1回鹿児島地区研修会を令和6年8月30日（金）にオンラインで開催いたしました。

今回は「能登半島地震災害におけるJRAT活動派遣の経験」というテーマで、米盛病院の久米康隆（運動器認定理学療法士）が講師を担当させていただきました。

2011年3月11日に発生した地震と津波による東日本大震災で震災後の避難所・仮設住宅生活では、多くの高齢者の不健康状態や疾病の悪化、いわゆる生活不活発病が大きな問題となり、2011年4月に大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会（JRAT）が発足しました。鹿児島では、2018年5月に地域JRATとして鹿児島JRATが組織化されています。

今回の研修会では、2024年1月1日に起こった能登半島地震災害でのJRAT活動報告と災害リハビリテーションの基礎についてお話させていただきました。鹿児島県は、台風等の自然災害が多く発生します。また、桜島という活火山を保有する県でもあるため、災害派遣だけではなく受援が必要な立場になる可能性があります。災害時に理学療法士がどのような活動を行えるのか等、考えるきっかけになっていただければ幸いです。

第1回鹿児島地区研修会参加者は47名でした。今後も会員の皆様にとって、有益かつ魅力的な研修会を企画して参りますので、ご参加の程よろしくお願い致します。



活動するうえで注意した点

- 被災者に対して行う人道的支援活動を行うことであり、生活不活発病予防と避難所生活の動作安全確保を主に、被災地のニーズに沿った形で活動・支援。
- JRAT活動は期間を限定した支援活動であるため、**現地の社会資源利用に繋げる。**



研修会報告（始良地区より）

地域局 理事 神 田 勝 利
始良地区長 福 榮 竜 也

○ 令和6年 第2回始良地区研修会

日 時：令和6年7月6日（土） 15：00～18：00

会 場：鹿児島第一医療リハビリ専門学校

参加者：28名

テーマ：『膝関節障害に対する徒手療法（触診・評価・治療）』

講 師：今村総合病院 白 尾 泰 宏 先生

カリキュラムコード：89 徒手理学療法

始良地区第2回研修会を7月6日（土）15：00～18：00、鹿児島第一医療リハビリ専門学校にて開催いたしました。

今回の研修会では、今村総合病院の白尾泰宏先生より「膝関節障害に対する徒手療法（触診・評価・治療）」をテーマとしてご講義いただきました。骨モデルを用いながら膝関節についての解剖、膝周囲や靭帯の触診、評価、モビライゼーションと実技を交えてご丁寧にご教授いただきました。今回は対面形式での実技研修ということもあり、経験の浅い先生方も多数参加してくださいました。臨床の場では膝関節疾患の患者様が多く見受けられるため、臨床にすぐ活かされる有意義な研修会となりました。



研修会報告（大隅地区より）

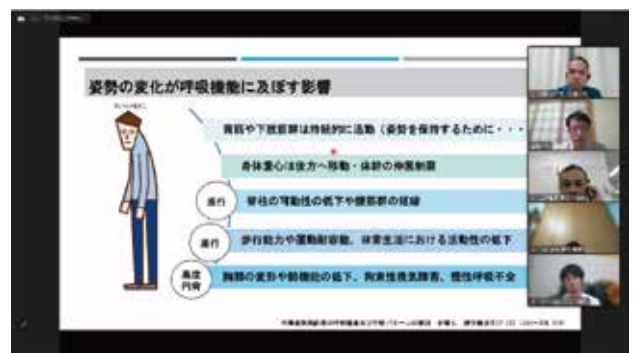
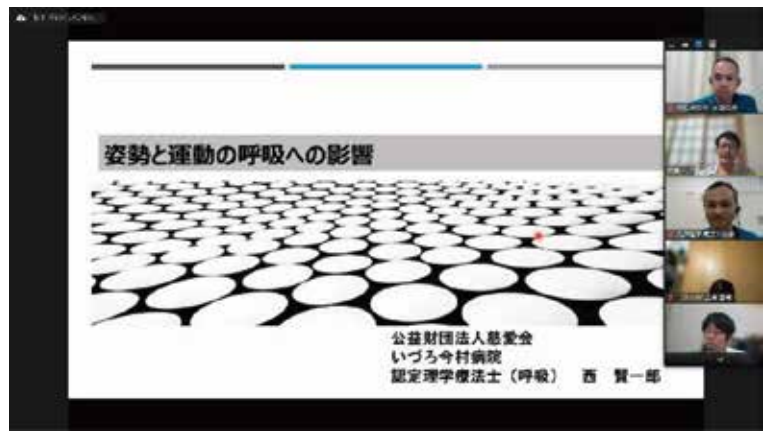
地域局 理事 榎 畑 純 二
大隅地区長 永 濱 良 太

○ 令和6年 大隅地区第1回研修会

今回は、いづろ今村病院理学療法士、西 賢一郎先生に「姿勢と運動の呼吸への影響」の演題で御講演いただきました。聴講者は大隅地区外からも含め、44名の会員の皆様にご参加いただきました。

講演内容としまして、①フィジカルアセスメント、②姿勢と呼吸、③運動と呼吸について、60分と短い時間ではありましたがご講演いただきました。フィジカルアセスメントをしっかり行い、円背姿勢への対応策や早期離床の重要性を説明いただきました。また、運動療法により動きたくない状態を動ける身体にかえることや、身体活動性の向上により、リハビリのためのリハビリにならないようにすることの重要性が理解できました。

今年度、症例検討会と研修会をあと2回（仙腸関節について・スポーツリハについて）企画しています。たくさんの会員の皆様の参加をお願い致します。



～第15回鹿児島訪問リハ研修会のお知らせ～ 訪問リハビリテーション研修会(入門編)

本研修会は、一般財団法人 訪問リハビリテーション振興財団の定める、訪問リハビリテーション実務者研修の内容を、下記の日程で開催いたします。

現在、地域で従事されている方、訪問リハビリに興味のある方の参加をお待ちしております。

開催日:令和6年11月30日(土) 8:45～16:00

(ミーティングルーム入室8:30から)

方法:ZOOMによるオンライン研修

講義内容	講師
訪問リハビリテーションにおける諸制度の理解	平和会クリニック 理学療法士 戸田博之 先生
在宅医療・介護のリスク管理の考え方	平和会クリニック 医師 久松憲明 先生
訪問リハでのADL・IADL	合同会社 Ridicolo. 作業療法士 田之上友彦 先生
情報伝達、コミュニケーション	介護老人保健施設クオリエ ソーシャルワーカー 廣野拓 先生
訪問リハでの言語聴覚療法	平和会訪問看護ステーション紫原 言語聴覚士 太田和彦 先生
訪問リハでの基本動作	いづろ今村病院 理学療法士 土井敦 先生

●対象:鹿児島県のPT・OT・ST協会に所属する会

●定員:80名(先着順)

●参加費:2000円

(受講決定後の案内にて参加費の振込口座番号と振込期限をお伝えいたします。)

●申し込み期間:令和6年10月21日(月)～11月11日(月)

●申込方法:下記URLまたはQRコードよりgoogle formにて申し込みください

<https://docs.google.com/forms/d/1jNyQrnbroUSY0hmP9mVpcDhR6YTRe-Nw-dtsdIj-0YU/edit>

【生涯学習ポイントについて】

※本研修会は、各士会の生涯学習ポイント対象となります。

理学療法士協会:登録/認定・専門理学療法士更新ポイント 加ケアコード[®] 169 訪問理学療法 6ポイント (既に加ケアコード[®] 169 訪問理学療法のポイントが付与されている方は対象となりません)

作業療法士協会:基礎ポイント 2ポイント

言語聴覚士会:生涯学習ポイント

主催:(一社)鹿児島県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連絡協議会
鹿児島訪問リハビリテーション研究会

QRコード



【修了証について】

※修了証の発行条件：6 講義、全て受講された方に対して、「訪問リハビリテーション実務者研修会」の修了証を発行いたします。

【メールアドレスについて】

※資料は事前に申し込みの際に記載いただいたメールアドレスに、研修会数日前に添付ファイルで送付いたします。そのため、申し込みは添付ファイルが受け取れるようなアドレスを指定ください。

ドメイン（@の後にあるアドレス）が docomo や ezweb、softbank などのメールアドレスは添付ファイルが送信できませんので、別のメールアドレスを指定ください。

【資料配布・ID・パスワードについて】

※資料を送るメールにて、ミーティングルームのサインインに必要な ID とパスワードもお知らせいたします。

【キャンセルについて】

※振り込み後のキャンセルは返金できません。ご了承ください。

【問い合わせ先】

鹿児島県訪問リハビリテーション研究会
名前、所属、職種を明記の上、ご連絡下さい。
メールアドレス：houmon.kagoshima@gmail.com

令和6年度 第1回 始良地区症例検討会聴講募集のご案内

始良地区理事 神 田 勝 利
始良地区長 福 栄 竜 也

令和6年度 始良地区症例検討会についてご案内いたします。

第1回 始良地区症例検討会は

『心機能への理学療法評価と運動療法 ～心房細動を認めた初発心不全患者の一例～』と
『右人工膝関節単顆置換術を施工した一症例』に関する内容で開催致します。
会員皆様の多数の参加をお願いいたします。

日 時 : 令和6年11月1日(金) 19:00~21:00 Web開催(ZOOM)
(18:30~ミーティングルームが開きます)

症例検討会テーマ : 『心機能への理学療法評価と運動療法
～心房細動を認めた初発心不全患者の一例～』

発表者 : 霧島市立医師会医療センター 福 元 勇 輝 先生

履修ポイント : 後期研修 E-3 内部障害系理学療法学 聴講1/3コマ履修

症例検討会テーマ : 『右人工膝関節単顆置換術を施工した一症例』

発表者 : クオラリハビリテーション病院あいら 木 原 祥 貴 先生

履修ポイント : 後期研修 E-2 運動器障害系理学療法学 聴講1/3コマ履修

申し込み方法 : 下記のQRコードを読み取り、症例検討会申込フォーム入力にてお申し込み
ください。

下記のURLからでも研修申込出来ます。

https://docs.google.com/forms/d/17gHRLAw13F0kYQpjxPNpsvHzCUIlragMxr_AuT2pHc/edit?chromeless=1

申し込み締切 : 10月25日(金)



研修
申込
フォー
ム

参加には事前申し込みが必要となります。

事前申し込み完了者へ、研修会前に視聴zoomのURLを送信いたします。

研修会参加については、会費納入がお済みの方を必須といたします。

納入がお済みでない方は、手続きのほどよろしくお願いいたします。

問い合わせ先 : 鹿児島県理学療法士協会 始良地区研修会担当

E-mail : aira.workshop@gmail.com

私と私の職場

医療法人厚生会 エスポワール立神
台 場 耕

記録的な猛暑、原油価格・物価高騰などにより、なにかと厳しい状況が続いておりますが、鹿児島県理学療法士協会会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

今回は私の職場である「医療法人厚生会 介護老人保健施設エスポワール立神」を紹介させていただきます。当施設は枕崎市にあり、豊かな自然に恵まれ、日本一の「かつおのまち」といわれております。また、本格焼酎でおなじみの「さつま白波」のふるさとでもあります。夏には南薩摩最大の祭り「さつま黒潮『さばらん海』枕崎港まつり」があり、大漁みこし・総踊り・花火大会などが催され、当施設も総踊りに参加し祭りを盛り上げております。夜空を彩る一万発の花火大会は人々の心をふるわせ、フィナーレは市民の想いをのせた、九州で最大となる三尺玉の大花火は圧巻です。

当施設は、「いくつになっても希望に満ちた生活づくり」をテーマに、高齢者の自立支援・在宅復帰支援を行っています。①生活リハビリテーションの提供②認知リハビリテーションの提供③歯科衛生士による口腔ケアが特徴であり、PT9名、OT2名で入所のリハビリテーション、通所リハビリテーション、訪問リハビリテーションを提供しております。また、同敷地内には居宅介護支援事業所、訪問介護事業所があり、まちづくりとその人らしい快適な生活・療養支援を厚生会グループ全体で提供しております。

私は、急性期、回復期、訪問リハを経て、現在は通所リハに勤務しております。また、地域介護予防活動支援事業や地域ケア会議等へ参加させていただいております。他職種時代も含めると入職してから30年が経ちました。白髪は増え、体力や認知機能の衰えを感じている日々ですが、これまで私を支えてくれた地域のために少しでも力になればとの思いで頑張っております。

会員の皆様のさらなるご活躍をお祈りいたします。



(三尺玉の大花火。右下に見えるのは当施設です。)

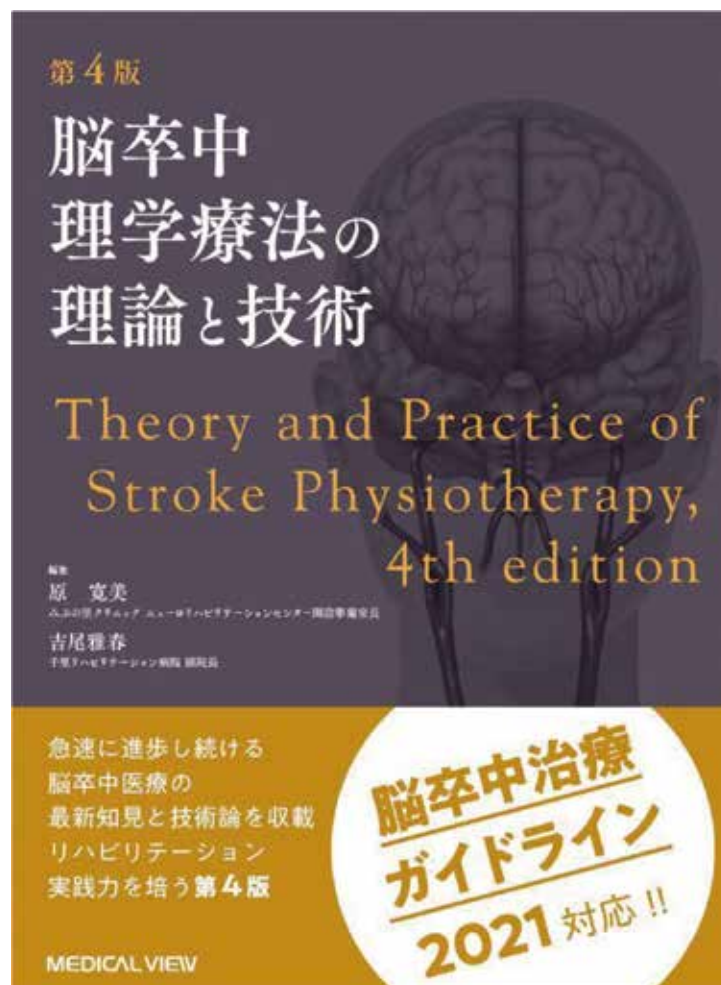
私のおすすめ

鹿児島市立病院

吉村 優斗

私は急性期病棟にて脳血管疾患の患者様を主に担当している理学療法士です。私自身、臨床1年目であり、実際にカルテからの情報収集において様々な疾患やそれらに対する医師の治療方針など、分からないことが多く、知識不足を感じていました。またリハビリテーションの経験が0であるため根拠をもって治療を行いたいと心掛けていました。本書籍では、脳の解剖生理から脳卒中の病態、治療、エビデンスに基づいた理学療法の理論と技術を学ぶことができます。私たち理学療法士の治療がどのように身体・脳へ影響を与え、患者様の機能回復の促進につながるのか、その機序が記されており、本書より得た知識が現在の私のリハビリテーション介入の基盤となっています。

本書は脳血管疾患について網羅的に学ぶ際に役立つと考えています。脳血管疾患のリハビリテーションに携わる際には是非読まれてみてはいかがでしょうか？



(<https://www.medicalview.co.jp/catalog/ISBN978-4-7583-2039-9.html>)

事務局だより

令和6年7月6日～令和6年9月10日現在受理分

学術誌

理学療法ジャーナル 第58巻第7号
総合理学療法学(大阪府) Vol. 4
鹿児島県リハビリテーション施設協議会報 Vol. 20
鹿児島県医師会報 第878号
理学療法ジャーナル 第58巻第8号
高知県理学療法 第31号
運動器疾患・障害予防教育マニュアル
NO Limit Vol. 98

ニュース

熊本No.145 広島No.278 兵庫Vol. 204 秋田Vol. 213 和歌山No.102 愛知No.214 滋賀No.225

<会員動向> (7/1～9/1定期承認まで)

入会61件 県内異動25件 転入1件 転出3件
休会8件 退会45件(うち未納退会19件、休会経過退会26件)
会員動向に関する詳細は非公開とします。
会員数 2582名 会員所属施設数 462施設

会長行動録

7月2日 鹿児島JRAT総会
7月6日 九州理学療法士サミット 同 士会長会議
7月8日 3役会
7月10日 県士会理事会 県連盟幹事会
7月13日 鹿児島地区リーダー会議
7月19日 鹿児島県リハ施設協議会総会
7月29日 県地域医療介護総合確保基金(介護分)委員会
7月31日 県訪問看護ステーション協議会理事会
8月6日 県連盟役員会
8月31日 県訪問看護ステーション協議会総会

編集後記

朝晩は過ごしやすくなってきました。皆様いかがお過ごしでしょうか。
秋といえば、何を思い浮かべるでしょうか。私はコスモスを思い浮かべます。涼しくなってきたので秋の花や風景などを眺めながら散策するのもいいですね。
広報誌に関してご意見等ございましたら、広報部まで連絡をお願いいたします。

rihabiri@gyokusyokai.com

広報部 吉村優希